

普及活動検討会の評価表まとめ

仙台農業改良普及センター
 実施月日：令和3年9月2日
 実施場所：仙台中央卸売市場3階会議室他
 (単位：人)

1 検討内容

No	検討項目
(1)	令和3年度普及指導計画について
(2)	「プロジェクト活動の取組状況について」 No.1 中山間地域農業を支える地域営農体制の構築 No.2 先進的園芸経営体の生産技術向上による経営安定 No.3 土地利用型法人によるえだまめ生産体系の導入定着 No.4 農村の維持発展を支える法人経営の体質強化 No.5 「シャインマスカット」の産地形成に向けた生産・販売力向上

2 検討委員の構成

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	1
市町村	2	マスコミ	0
農業関係団体	2	民間企業	0

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
(1) 令和3年度普及指導計画について	[4.2]	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に重要度の高い普及指導計画が立てられている。 全体的に手厚い支援がされていて素晴らしいと思うが、重点活動、一般活動があまりにも多数でどの活動が重要か分からず、生産者が消化不良になっていないか？順番付けも必要かと思った。や中山間地域における高収益品目や新規品目の技術支援や、果樹の生産、販売力向上支援など広い範囲で生産者への普及指導を計画していると思う。 継続的な取組の中で、他地域のモデルとなるような取組への支援課題が設定されている。また、重点活動についても当地域での課題となっている事項を捉え、具体的な活動が行われている。特に、今後の地域農業を支えるための必須課題である「新規就農者等の確保、育成、定着支援」については、今後より一層、市町村や関係機関との連携を深めて支援をいただきたい。 農家や生産者が農産物販売によって再生産できるよう指導をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> いただいた評価を今後の普及活動に活かしていきます。 御指摘のとおり本年度は重点活動や一般活動の課題数が多いことから、次年度に向けては重要度と緊急度の高い課題を再度整理し、取組んでいきます。 新規就農者等の確保、育成、定着に向けた支援を始め、普及活動の展開にあたっては、関係機関との連携をより一層深めていきます。 営農活動が持続出来るよう、引き続き支援していきます。
(2) プロジェクト活動の取組状況について No.1 中山間地域農業を支える地域営農体制の構築	[4.0]	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域の高齢化の進む地域において、集落営農組織の法人化が着実に進められている。収益向上に向け、関係機関等と連携を図られ、積極的な普及活動が行われている。 高齢化、担い手不足の課題に直面している中山間地域で、地域の農家との綿密な話し合いや法人運営のための支援がなされ、導入品目の選定、栽培技術指導についても着実に実施されている。今年度が最終年ということもあり、地域農業の安定化を図る上でも引き続き支援して頂ければと思う。 関係各所から手厚いサポート体制があるのは素晴らしいが、それが反映された実績が今後出ると良いと思う。 玉ねぎ、にんにく、長ねぎの作物栽培支援は評価できる。しかし、ほ場整備事業終了後にこの地域に残る農業者の年齢、人数などを考慮したものか考えて行く必要がある。人・農地プランや農地の集積も考えて、作れない農地は非農地認定を行うなど若手や担い手が労働しやすい農業を考えて欲しい。 たまねぎとジャンボにんにくは一部作付け面積を増やしたが昨年度実績を上回る結果とならず少し残念。秋の定植及び今後のねぎ収穫に期待したい。 JA 仙台で、玉ねぎ苗を販売できないとあったが、今後苗はどのように調達するのか？調達できない場合は作付けを断念するのか不安を感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、関係機関等と連携を図りながら、他地区の参考事例になるよう支援していきます。 組合員の平均年齢は高いものの、60歳前後の組合員が3名おり、将来、当地区の約30haの農地を経営する中心メンバーになる予定です。地域農業の安定化や持続的な発展がなされる様、地区の後継者には、親世代がリタイア後、組合員として関わってもらえるよう法人から働きかけを行っています。 令和4年度には、農地整備地区の農地を全て農地バンクを通じ転貸することから、今後も、農地整備後の営農を見据えた体制整備支援を行います。 失敗も含めたこれまでの栽培経験を活かし、安定的に栽培できるよう技術支援をしていきます。 懸念されていた次期作の玉ねぎの苗については調達する事が出来ました。今後は継続的に栽培できるように、苗づくりも含めた指導・支援を行って行きます。
No.2 先進的園芸経営体の生産技術向上による経営安定	[3.8]	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な法人経営において、栽培管理や作業管理に対する高度な支援活動が行われている。支援活動に対する法人側のニーズやその成果に対する評価なども示していただけると良かった。 収量が目標に達していない。知識がまだ実績に反映していないと感じた。 農業のスマート化は今の農業の課題であり、着眼点、指導は評価出来る。トマトは年1作で毎年気候や条件が異なるので今後長い支援が必要である。また蓄積中のデータを活用できる人材の指導育成も継続して欲しい。 令和元年東日本台風で被災した経営体を粘り強く支援しており、ご苦労されていると感じた。スマート農業の各種データを可視化し、効率的な助言が出来ているものと思われる。 令和2年度の出荷目標は達成できなかったものの、社内の情報交換や情報共有が行われ、着実にデータの積みあげ、作業管理体制等が構築されてきているのかと思う。今後もデータを基に課題を洗い出しながら、収量・品質の向上に繋がる支援をして頂きたい。 収量向上を目指した技術の習得と作業分担による作業効率化が必要と感じた。社員やパートさんなどに対する福利厚生の具体的な内容が知りたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や支援活動の内容は、対象者のニーズも踏まえつつ設定し、評価についても確認しながら活動を行っています。今後は、その状況が検討委員の皆様把握していただける様、資料等を示して行きたいと思います。 目標収量達成に向けては、データの可視化やその情報共有にとどまらず、どのように栽培管理や作業効率化に活用していくかが重要なポイントになります。引き続きデータの活用促進に向けた技術向上と体制整備の支援及び労務管理等についても助言を行って行きます。
No.3 土地利用型法人によるえだまめ生産体	[3.8]	<ul style="list-style-type: none"> 県で生産振興が図られているえだまめの栽培技術向上に対して、きめ細かい支援活動が行われている。今後、経営面での効果なども明らかにされると、法人にとって有益な情報になると思われる。 5つのプロジェクト課題の中で取組内容と指導助言していることが 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の中で経営調査も行い、3か年で対象法人の事例を基にした経営指標の作成を進めていきます。 栽培技術や品種選定等について支援し、

系の導入定着		<p>一番わかりやすくシンプルな課題と思われる。さらなる支援と効果を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稲・大豆との作業競合しない品目の選定は評価出来る。えだまめは季節の偏りがあり通年で市場に流通・出荷出来るような冷蔵や冷凍なりを今後考慮していく必要がある。 ・ 仙台市内でも生産者が多いえだまめの新規導入ということで興味を持った。作付面積や収量の状況など初年度でもデータを使用した課題や所見があると良い。 ・ 様々な角度から他地域での実績等を踏まえて技術指導いただきたい。また、実証ほを設置することで作業時間・環境適用・作業機械等適切な品種情報を提供いただきながら収量・品質向上支援をお願いしたい。 ・ 機械作業に適した品種選定が必要と感じた。 	<p>えだまめの生産体系の確立と導入定着を図っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在はまだ流通量が少ないものの、仙台えだまめサプライチェーン事業（全農みやぎ）の取組では、食品関連事業者（冷凍加工含む）とも連携しています。 ・ 他地域での取組事例を直に学んでもらえるよう、今後も先進地視察研修等を企画するとともに、メーカーや地域の情報等により、機械作業に適した品種選定について助言していきます。また、普及センター実証ほの結果を活用し、収量・品質向上に向けて支援していきます。
No.4 農村の維持発展を支える農業法人の体質強化	[3.8]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術面(土地利用型作物, 園芸作物)と経営面(労務管理等)の面から多面的に普及活動が行われている。特に, 若い従業員の雇用を見据えて労働環境の整備を行おうとしている点が評価出来る。 ・ 土壌改良のサポート・支援がとにかく必要と思われる。 ・ そらまめ, ブロッコリー等品目選定の理由が分からなかった。鳥獣害の多い地域なので新規の取組は評価出来るが, 現状の特色あるそば等に目を向けて, そば祭りや SNS を活用した販売向上による冬期間の新規雇用や女性の仕事づくりのための, そば加工品への指導もあるのかなと思う。 ・ 収量が少ない中山間地域の土壌改良を試みた生育調査は生産組合にとっても有益な情報であると考え。そらまめやブロッコリーなど新たな園芸品目についても支援を期待したい。 ・ 水稲, 大豆, そばの収量・品質の安定生産に向けた取組が実施されるとともに収量減少に結びつく獣害対策の効率的な実施についても検討されている。また新規の園芸作物への取組について今年度から実施されており, 小さな面積から確実に実績を積みあげながら面積, 参画農家の拡大, 品質の向上に繋がるような支援をして頂きたい。 ・ 中山間地で水稲及び園芸作物で周年雇用は難しいため, 安定生産技術の指導が必要と感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水稲・大豆・そばの安定生産のため, 中山地域の土壌改良や鳥獣害対策等, 引き続き支援していきます。 ・ 同組合においては構成員の高齢化に対応するため, 今後, 若い従業員の雇用を計画しており, 優秀な人材の確保に向けて, 専門家と連携し, 労働環境の整備にむけた支援をしていきます。 ・ そばについては, 同組合で製粉施設を所有し, 仙台市やJA仙台からの支援により, 各種リーフレットやのぼり旗の作成, そば関連イベント開催等, 十分にPRがなされていることから, 普及センターでは栽培技術を中心とした支援を行っています。 ・ 新規園芸品目については同組合の保有労働力や経営規模の他, 取組み易さ等から, そらまめとブロッコリーを選定しています。これらの品目が定着・規模拡大することにより, 地域の農地や労働力の有効活用と所得向上に繋がるよう, 今後とも技術指導や巡回指導を実施してきます。
No.5 「シャインマスカット」の産地形成に向けた生産・販売力向上	[3.7]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者の意向をアンケート等から把握した上で, ニーズに沿った支援が行われている点が評価出来る。 ・ 高価格商品なので, 具体的なペルソナ(典型的なユーザー像)設定をされた方が良いのでは ・ 人気ある商品なので, 生産者が独自に JA 以外の販売経路を検討したり, 飲食店(レストラン, 菓子店)などとの商品開発なども応援して欲しい。 ・ 仙台市内では生産者がほばいない果樹への支援なので関心を持った。多くの生産者が試作的生産をしているが, 全部で 1ha ある面積や生産量がどの程度増加してくれば本格的産地形成を目指せるか具体的な数字の提示もあると良かったと思われる。 ・ 実需の要求に沿うような質の高い生産物を提供できるよう生産技術の高度化を図りながら省力化にも対応しているようであるが, 部会員の中でそのことが平準化されるよう指導していただければよいと思う。また, 販売戦略として産地形成を目指しながら支援していただきたい。 ・ 栽培方法については習得されているとは思いますが, 販売先の確保も重要と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者のユーザー像を設定し, 販売方法の検討を行っています。流通量増加に伴って販売情勢の変化も見込まれるため, 変化に応じた対応ができるように今後とも関係者と連携して販売支援に取り組んでいきます。 ・ 生産者の収益が増加することで意欲向上につながることを考え, 生産から販売までを支援していきます。試作的な生産者が多い段階ですが, 産地形成には生産者の意欲向上や生産地域の認知度向上, 関係機関との連携, 人材育成等多くのことが必要であるため, それらを念頭においた支援を継続して行っていきます。 ・ 今後は部会員の生産, 販売が本格化してくるので, 課題対象 5 名をモデル経営体として育成を図り, 部会員への効果的な波及方法を検討していきます。 ・ 生産量が十分でないために取引に至らない販売先候補もある状況です。生産量増加に向けた支援を行うとともに, 実需者へのニーズ調査, 情報交換を行い販売先確保につなげていきます。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ緊急事態宣言中, まん延防止等重点措置期間中の開催については, リモートでの開催を希望したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御助言ありがとうございます。今後は, 県内の感染状況等により開催の方法を検討します。

※：検討項目数に応じて欄を追加し記載する